

日大医学雑誌 生成 AI 利用について (ICMJE 準拠)

1. 基本原則

大規模言語モデル (LLM; ChatGPT や Claude、Gemini など) や画像生成 AI を含む生成 AI は著者・共著者として記載しない。原稿の正確性・完全性・倫理的適正性に関する責任はすべて人間の著者が負う。

2. 利用範囲

AI の利用は、原則として文法修正・文章の明瞭化・翻訳・要約などの執筆支援に限る。研究設計・データ解析・図表作成・画像生成など研究内容に関わる部分に AI を使う場合は、その手法の妥当性を著者が確認し、方法 (Methods) に明記する。AI が生成したコンテンツを一次情報や証拠として引用してはならない。

3. 利用の開示

AI を利用した場合はツール名・バージョン・提供元・利用日、および利用目的・内容を記載する。

開示例：

本稿の英文校正に Gemini (Google, version 2.5 Flash, accessed 2025-09-09) を使用した。
著者が出力内容を精査し、最終責任を負う。

4. 著者の責任

AI が生成した内容の正確性・出典・著作権・盗用リスクはすべて著者が検証する。AI が作成した文章・図表・画像は、必要に応じて生データやアルゴリズムを提示できる状態にする。

5. 機密保持・個人情報保護

未公開データ・患者情報・査読原稿などの機密情報を外部 AI に入力してはならない。必要に応じてオンプレミス環境や契約済みの企業向けサービスを利用する。

* 日本大学が提供する内部システム (例: エンタープライズ グレードのセキュリティ・プライバシー保護付き Gemini、NotebookLM など) の AI ツールにアクセスできる著者は、未公開データ、知的財産、または氏名を含む機密情報や個人情報を取り扱う際にはこれらのツールを利用することを強く推奨する。これらのシステムを用いることによって、機密情報が公開 AI モデルの学習に利用されるのを防ぐことができる。

6. 査読・編集での利用

査読者・編集者は、著者の同意なく原稿やデータを生成 AI に入力してはならない。生成 AI を使用した要約や文面生成は許可される場合もあるが、利用の申告を必須とする。

7. 運用・改訂

本ポリシーは ICMJE や COPE、WAME などの国際ガイドラインに基づき、技術動向や倫理規範の更新に応じて適宜改訂する。

開示文テンプレート

■ 執筆支援のみ

本研究の原稿整備にあたり、言語表現の明瞭化を目的として生成 AI ツール（製品名、バージョン、提供元、アクセス日）を使用した。著者らは当該出力を精査・修正し、内容の正確性と出典の適切性について全責任を負う。

■ 解析・図表で使用

本研究では、解析/図表作成の一部に生成 AI（（製品名、バージョン、提供元、アクセス日）を用いた。使用目的は[]であり、使用時の主要プロンプト・手順は方法 (Methods) に記載した。著者らが結果の妥当性を独立に検証し、最終責任を負う。